



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12:30 例会場：豊川商工会議所
 会長：井指光基 幹事：山城康司 SAA：笠原盛泰 会報委員長：小野喜明
 事務局：豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度40回 通算第1066回 平成20年5月20日(火) 晴

ゲスト 衆議院議員 杉田元司氏
 ビジター 岡崎RC1名 豊橋RC3名 豊橋南RC3名 豊橋ゴールデンRC4名
 豊橋東RC3名 豊川RC7名
 出席報告 宮崎眞一委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	4/22修正出席率
55名	43+3名	28名	58.7%	91.1%

司会進行 小田伊佐浩SAA

★会長の挨拶及び報告 井指光基会長

こんばんは。先週の水曜日に豊川市民憲章推進連絡協議会総会がありまして出席して参りました。また本日、柴田勝会員が会長をされています、豊川宝飯防犯協会連合会・暴力追放豊川宝飯連絡協議会の総会がありまして出席をしまして。犯罪が豊川でも増えているとのお話がありました。

本日の卓話の講師は衆議院議員の杉田先生です。どうぞよろしくお願ひします。

★幹事報告 山城康司幹事

例会臨時変更：豊川・豊橋・新城RC

★外部講師の卓話

◎講師のご紹介



杉田元司さん
 昭和26年7月28日生まれ
 現在の田原市ご出身
 愛知県立成章高等学校卒業
 中央大学経済学部卒業
 昭和50年に村田敬次郎元衆議院議員の秘書

平成11年に愛知県議会議員に初当選
 平成17年9月に衆議院議員に初当選

◎卓話「今の政治に思うこと」

衆議院議員 杉田元司氏



皆さん、こんばんは。豊川宝飯ロータリークラブの例会にお招きを頂きまして、大変ありがとうございます。ごさいます。

本日は本会議を終えて、豊川に戻って参りました。まず豊川宝飯防犯協会の総会に出席させてもらい、その後、豊川食品衛生協会の総会に出席をしてからこちらに参りました。

道路特定財源のこと、後期高齢者医療制度のことなどの問題があります。地元に戻りますと、いろいろな会合に出させていただきます。いろいろな方々にお会いします。必ず帰ってくる話が、この道路の件、後期高齢者医療の件、さかのぼって社会保険庁の年金、更には道路に絡んだ国交省をはじめとする役人の無残な交付金、甘い汁を吸って生き延びてきた官僚制度を政治が監視できなかった問題などがあります。もう返す言葉も失うぐらいに、私は痛烈に斧で頭を割られるごとくに感じ、う

つ病になりそうぐらいであります。でもこんなことではいけない、日本の将来、10年20年先もっと劇的に変わるであろうこの先を見据えて、確かな政策をなしていくことが、与えられた責務だと思っています。さもなくば、次の選挙はないと思っています。前回の選挙も風前の灯の中で、なんとか岸にたどり着いたらロープが投げられて、そのロープをたどって行ったら、比例復活当選でありました。まさにこれは、天から与えられたご褒美だと思っています。その為にも与えられた任期を全力疾走で2年8ヶ月を今日まで迎えさせて頂きました。このわずか2年8ヶ月の間に、小泉郵政改革、見事にこれは成功を成し遂げたのかもしれませんが。特定郵便局長会の会合では、それでも政治と関わって生きていかなければならないと言って政治と関わってこうという形になってきました。いつも、そのメッセージをしっかりと受け止めていくのが、私たち政治家の仕事だと思っています。

新聞等でご存知だと思いますが、この1月から3月の実質GDPの成長率は、3.3%という数字がでました。でもこれを取り巻く環境というのは、原油や原材料、鋼材などが値上がりし、また食糧までも。昔はアメリカが風邪を引いたら日本が肺炎を起すと言われていました。今はもう、津波が世界中を駆け巡っている状態です。そんな中での3.3%の成長が遂げられました。これは幸いなのですが、円高によって油の価格やサブプライムもありますが、日本はそれほどの被害を受けずに今日を迎えられた。それは7期連続で小泉改革のものとなかで成長を遂げて来れたことが一つの証。良い悪いはこれから先の話でございます。歴史的な一つの証だと思っています。予測では、来年の3月には、この7期以上続いた成長は、沈んでいくであろうと言われてます。一番怖いのは、食糧も原油高もそうですが、物価がドンドン上がってくる。物価が上がっても、需要が伸びないという状況、スタグフレーションの時代が日本にいつ押し寄せるかもわかりません。現にアメリカはスタグフレーションが始まっています。日本はまだ、そこを避けていることが出来るのは、この1~3月のGDPでの成長率3.3%だと思っています。なぜ今この話かと言いますと、一番苦しんでいるのが財政であります。景気の刺激策は、たしかに小泉郵政改革で底上げはありました。ただ、これからこの日常の中

で、道路よりもむしろ後期高齢者医療制度だと思います。税収がようやく底上げがなされました。小泉さんの改革前は42兆、この7年間で50兆に税収が上がってきました。でも一年間の国家予算は80兆なんです。赤字で国債を発行しなければならないという現実が、何年も何年も続いているのです。そのために2006年の政府の骨太の方針で、小泉さんが2011年度の5年先を一つのメドとして、収支の均等を必ず取ると言いました。当時、30兆円の建設の国債を抜きにした中で、16兆円という赤字が存続をしていました。その当時の消費税の議論は、1%上がると2.5兆円です。ですから、あの時の消費税議論は6%議論をしていました。6%ですと15兆円弱であります。この議論が、去年の段階では、そこまでの必要が無いのではないかと、6%上げなくても収支の均等が保てるのではないかと景気の回復基調にあったわけですが、これは、経済財政諮問会議というところで、時の政権は、いつも自由民主党という大きな税制の議論をする舞台と、政府の税制調査会という舞台。この2つの両軸が互いに競い合って、しかも主導権は自民党の税制調査会にありました。ここで国民の一番の租税の基本を決めてきました。これは、相続税の問題、事業承継の問題、こうしたパーセンテージをきめ細かく決定しながら、大企業と中小企業のあり方、そして中小企業がどう生き延びていくかという税制を戦わした舞台でありました。ところが、小泉さんの場合は、郵政改革の中で自民党の税制調査会や自民党の族議員に頼っていたのでは大きな改革は前に進まない、だから政府の財政諮問会議を立ち上げました。この財政諮問会議は民間人の方々が主体であります。その時に小泉さんは、いろんな財政の削減目標を立てました。その一つの大きな例が、この後期高齢者の由来であります厚生省に対して、毎年2,200億円ずつの減額要請です。5年間で約1兆2千億円、これを何としてでも減らさないといけないと命題を課しました。厚生省の2,200億円が、この後期高齢者にも少なからず影響を与えています。実は税収は50兆円に上がってきました。だが、社会保障関連費というのは、そのうちの30兆円なんです。一般会計の予算が80兆円のなかで、30兆の社会保障、そして団塊の世代の方々が、これから退職をされて年金受給者になります。そのための社会保障費が毎年1兆円ずつ伸びて

いきます。今 30 兆円でありまして、20 年後には 50 兆円という今の年収と同じ金額になってしまいます。しかも後期高齢者といわれる人たちは、1,300 万人いるわけでありまして。この方々の 75 歳以上の医療費が、30 兆円のうちの 12 兆円あります。この後期高齢者の医療の補填をしながらご負担が従前通りでありますと、20 年後には 30 兆円に膨れ上がってしまう、予想をはるかに上回るペースで医療費が進みつつあります。

そんな中で、私たちは一生懸命に説明をさせて頂くのですが、言い訳にしか聞こえてこない様なんですね。なぜかと言うと朝のテレビでこの問題を取り上げると、世論の半分がそう思ってしまい、昼のテレビで取り上げるとまた 20%の世論がそう思い、3 時頃のテレビで取り上げるとまた 20%、もう 90%の世論が思ってしまうのです。一生懸命に政府も説明責任をしているのですが、新聞に書いてくれない。テレビで幹事長が伝えているのに、放映の時にはカットされてしまう、残念ながらこれが現実です。今回の医療制度は、例えば、国民の最低年金で 25 年以上 40 年掛けられた方は、月に 6 万 6 千円を頂くことになります。ご夫婦で 13 万 2 千円になります。後期高齢者の基礎年金だけで生活をされている方々は 1,300 万人のうちの 7 割 5 分いらっしゃいます。この方々は今まで 3,500 円掛かっていましたが、今回の制度の中では、医療費を下げたいというのが一つの方針であります。医療費は、都道府県や市町村によって違います。それは、東京都や名古屋市などの財政的に余力のあるところは、国保医療費を市や区が補填していました。東京都と地方の一市町村では、その差が 4 倍 5 倍ありました。実際には、先ほどの基礎年金だけで生活をされている方の医療費の 3,500 円は、約 1,000 円位に下がるのです。そのことを新聞等でご覧になられた方はいらっしゃいますか？実際には 1,000 円に下がるのに、「天引き」という言葉で相殺されてしまっているのです。下がる方もありますが、支えあう制度ですから、例えば年収 520 万円以上の方々、現役所得並みの収入がある方は、今までよりも医療費が膨らんで参ります。その方々には、低所得の方々と補完をしながら医療制度を支えあって頂きたい。この 520 という数字が一つの目安になります。当初からこの制度は、低所得者の方々にも、それぞれ負担割合が細かく分類をされ

ています。年収が 33 万円の方々は 7 割の負担を軽減、約 57 万円の方は 5 割を軽減、103 万円の方々は 2 割を軽減しましょう。そのようなことは報道されないのです。昨日、福田総理も、このままでは制度の仕組みそのものが理解をされず、政権の支持率は 20%を割って下がる一方、なんとかこの制度の仕組みと 20 年後には後期高齢者の医療費のみで 12 兆から 30 兆に膨れ上がってしまう。これでは、働いてこられた方が安心して暮らせる高齢社会を築くことができない、その決断の中で、福田総理は、7 割の軽減であった人を 9 割までしよう。ですから、3,500 円払っていた方は 9 割ですから、350 円の負担で後期の高齢医療が受けられる、そういう仕組み替えを始めたばかりです。日本の制度そのものを持続的に継続して維持していくためには、私も色んなところで、この説明をさせて頂こうと思うと「もう聞きたくない」「政府も自民党も何をやっているんだ」と言われ説明させて頂きたいと申し上げても「謝るだけでいい」と言われます。ちゃんと説明が出来ない現実を非常に辛く思っております。

道路の問題もそうであります。実は、昨日、豊川市長さんに上京して頂きました。それは、道路特定財源の問題です。25 円の暫定税率で推移をしてきました。この地域の中心課題は、6 年後に開通する予定の新東名です。港の関連から 23 号と 151 号です。ずっと要望も頂いていましたし、そういった声も住民の方々からも聞いています。4 月 13 日以降、暫定税率の問題は、憲法に規定された衆議院の優越権により 3 分の 2 ということで再可決をしました。もう一つは、租税特別措置法であります。この特措法が一番の根拠は、地方に道路の交付金を支出していくということ。租税特別措置法が一番の基になるのは地方道路財源交付金であります。これが 6,825 億円ありまして、この元手がなくなると、豊川市の場合には 13 億 5 千万ほど減収になります。では減収になった分をどこで補填するか、それは教育予算だとか環境予算だとか、市民病院の建設予算だとか、そうしたもので 13 億 5 千万の補填をしなければならないという豊川市の一般会計の仕組みであります。何としてでも市民病院に影響があってはいけない、予算の削減があってはいけない、市長さんたちの応援も頂きながら活動をしています。地方道路財源交付金、151 号一宮バイパスが今回の衆議院

の優越権により3分の2という再可決で、国土交通省から道路認定を頂くことになりました。今年度は調査費だけですが、来年度から予算を付けてもらわないと6年後が新東名の開通ですから、豊川インターと新東名がパニックになってしまう。そうならないように、昨日、国交省に、豊川市長さんと新城市長さんと一緒に挨拶に行ってきました。今回の道路特定財源の問題も色んな問題をかもし出しました。しかし、福田総理は、やはり世論の中で、これを道路特別財源として扱うのではなく、2009年度から一般会計として、一般財源として、この問題に照準を当てていこうと閣議決定をしました。一般財源化に向けて、この貴重な5兆4千億円という皆様から頂いている揮発油税や重量税など含めたこの予算のしっかりとした使い道を考えていかないといけないと思っております。全てがそうしたことで今国会は、120法案を提出する予定でしたが、この道路の問題と後期高齢者の問題が最重要課題であったために、今国会は90法案の提出に減らしました。それでも野党の方々の抵抗もあって、35日間の空白、そんな中で審議がストップ、ですから未だにまだ50しか法案が通っていません。残り40法案を残して会期1ヶ月弱であります。大事な制度の仕組み直しをしなければいけません。国家公務員制度改革基本法案です。官僚は頭脳集団ですから、頭脳集団と私ども政治がどう戦っていくかということが、これからの新しい国家としての財政再建の目玉になっていくと思っています。それが出来なければ、日本という国は、870兆を超える国債、この償還すらままならぬまま、グローバルな中で生きていく道筋を選択できない状況になると思います。

大変堅苦しい話になりましたが、本日お招きを頂き、そしてご静聴頂きました。ありがとうございました。

杉田元司事務所ホームページアドレス

<http://www.cnet-ai.ne.jp/sugita-m/>

★ニコニコボックス

◎誕生日祝い

伊藤正幸会員
小田伊佐浩会員久子夫人
山田久就会員隆子夫人
柴田 勝会員
近藤哲司会員
小野喜明会員久美子夫人
波多野四郎会員千恵子夫人
井指光基会員妙子夫人
後藤文良会員
小田伊佐浩会員

◎結婚記念日祝い

細井 勉会員ご夫妻
伊藤靖彦会員ご夫妻
柴田 勝会員ご夫妻
山口善功会員ご夫妻
近藤元重会員ご夫妻
磯 隆俊会員ご夫妻
青木恒義会員ご夫妻

◎事業所創業

水野太一会員 (株)ユタカハウジング
星川佳伸会員 (株)星川組

◎入会記念日祝い

山田久就会員
度会尚志会員
野中泰志会員

◎その他

柴田 勝会員 次期の農協組合長に内定し
夏目雅康会員 分区ゴルフ大会でドラゴン
柴田 勝会員 誕生日を祝って頂き
小田伊佐浩会員 //
波多野四郎会員 //
水野太一会員 事業所創業を祝って頂き
野中泰志会員 入会記念を祝って頂き
度会尚志会員 //
大木健市会員 いろいろ祝って頂き
岩瀬靖宏会員 //
青木恒義会員 //
種井映二会員 誕生日を祝って頂き

会報担当者：小野喜明会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。